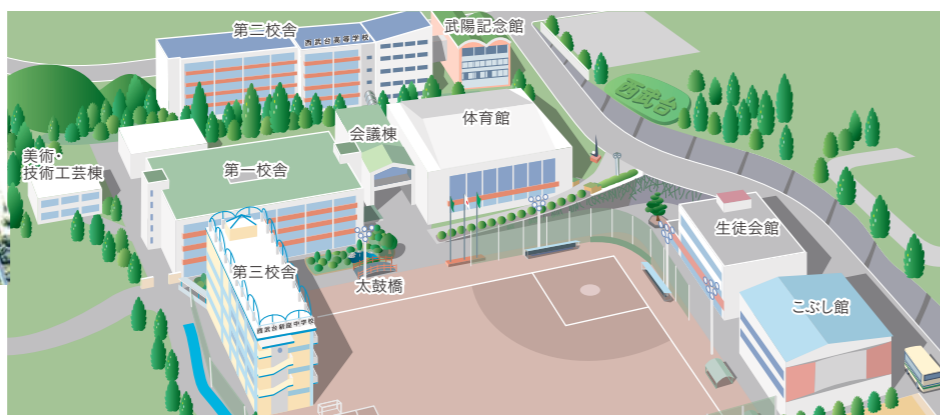
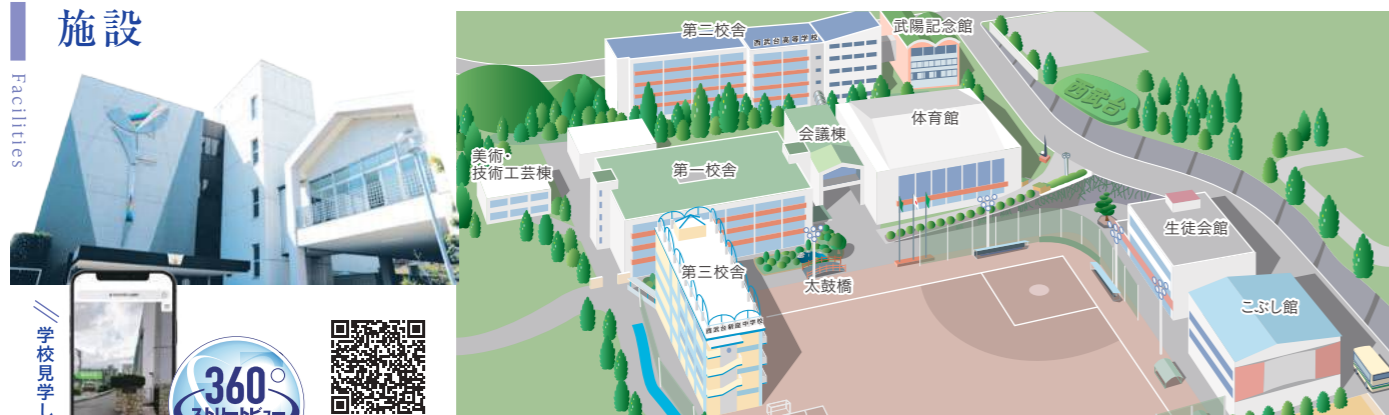


施設

Facilities

学校見学しよう!



建物は、耐震補強工事が完了しており安全が確保されています。2011年の東日本大震災での経験をもとに、帰宅困難の際に、校舎内で待機できるよう準備もしています。また、地震や火災などの災害を想定した避難訓練を年2回実施しています。緊急時には保護者へ連絡するための緊急メール発信体制も整っています。

■ SLC (西武台ラーニングサポートセンター)

放課後1日2時間の自学自習を目的に設置された施設で、高校生は20時まで利用できます。在籍するコーチは質問対応のほか、定期テストや大学受験に向けた計画作成まで幅広くサポートを行います。



■ 体育館



■ こぶし館



■ 第2グラウンド



アクセス

Access

- 乗換一回につき5分を加算して計算していますが、路線・時間帯により若干異なります。
- 路線バスご利用の場合は、志木駅南口・新座駅北入口より跡見女子大行または、所沢駅東口行バス「中野」下車。
- 徒歩で学校までは、柳瀬川駅・新座駅から25分です。

- スクールバス停の最寄駅まで(電車所要時間)
- スクールバス停から学校まで(バス所要時間)
- 学校所在地



説明会 2026

Events 2026

オンライン学校説明会 4/26(日)	学校説明会 第1回 5/16(土)	学校説明会 第2回 6/20(土)	オープンスクール 第1回 7/18(土)	オープンスクール 第2回 8/22(土)	武陽祭(文化祭) 9/12(土)・13(日)
学校説明会 第3回 9/19(土)	学校説明会 第4回 10/10(土)	学校説明会 第5回 10/31(土)	入試模擬体験会 11/21(土)	入試直前情報説明会/帰国生入試 12/12(土)	

- 今後の社会情勢により日時などに変更が出る場合は本校ホームページにてお知らせいたします。
- 本校の教育内容などは、本校ホームページ中の「西武台TV」というYoutubeチャンネルにアップしていきます。本校ホームページへのアクセスは、下記 URL を入力または「西武台新座中学校」で検索、または QR コードを読み込んでください。

<https://www.seibudai.ed.jp/junior/>



西武台新座中学校 検索



〒352-8508 埼玉県新座市中野 2-9-1 TEL:048-424-5781

SEIBUDAI NIZA JUNIOR HIGH SCHOOL 中高一貫コース



Design your own future

Design your own future

未来をデザインし自己実現する人の育成

自己肯定感を育み、主体的な学びと挑戦を通して、未来を切り拓き、自己実現できる人を育てる

本校は、生徒一人ひとりを尊重し、安心して挑戦できる環境のもと、個に応じた丁寧な指導を行います。

努力の過程を大切に、自己肯定感と主体性を育成。完全中高一貫の6年間で確かな学力を養い、

難関大学合格を目指すとともに、探究を通してリーダーに必要な力と「問い」と向き合う力を育て、未来を切り開く力を伸ばします。

/ 自己肯定感を育む /

個に応じた丁寧な指導で

生徒の可能性を最大限に引き出す

生徒一人ひとりを「一人の人」として尊重し、安心して挑戦できる環境を大切にしています。教員との信頼関係のもと、それぞれの個性や成長段階に応じた丁寧な指導を行い、失敗を恐れず前に進む力を育てながら、生徒の可能性を最大限に引き出します。

生徒の努力の過程を認め、自己肯定感と誇りを育てる

結果だけでなく、努力や挑戦、積み重ねてきた過程を大切にしています。他者と比べるのではなく、「昨日の自分からの成長」に目を向けることで、生徒が自分の歩みを肯定し、誇りと自信をもって次の一步を踏み出せるよう支えます。

/ 主体性を身につける /

「自分で調べ、考え、決め、動く」

主体的な学びを軸にする

学びを「やらされるもの」ではなく、「自分の力を伸ばすもの」として捉える姿勢を大切にしています。知識を受け取るだけで終わらせず、自らの学びとして深め、活用しながら理解を積み重ねることで、次の学びへと主体的につなげていく力を育てます。

実社会につながる学びを重視する

学んだ知識や技能を現実の課題と結びつけて考える学びを大切にしています。各教科や探究、AIの活用などを通して、教室での学びを広い視野へとつなげ、社会の中で生きる力や、変化に対応しながら考え続ける姿勢を育てます。

/ 未来を切り開く /

完全中高一貫カリキュラム

6年間を通して基礎から応用へと計画的に学び、確かな学力を身に付けます。高校受験がない中高一貫の強みを生かし、早期から体系的な指導と先取り学習を実施。高校3年次では演習に集中できる環境のもと、高い目標に挑戦できる力を伸ばします。

リーダーとしての5つの力を育成する

探究学習を通して、社会で活躍するリーダーに求められるコミュニケーション能力、情報収集力、リテラシー力、構成力、表現力の5つの力を育成します。これらをバランスよく身につけることで、変化の時代を主体的に生き抜く力を養います。

/ 自己実現する /

難関大学に合格できる学力を育成する

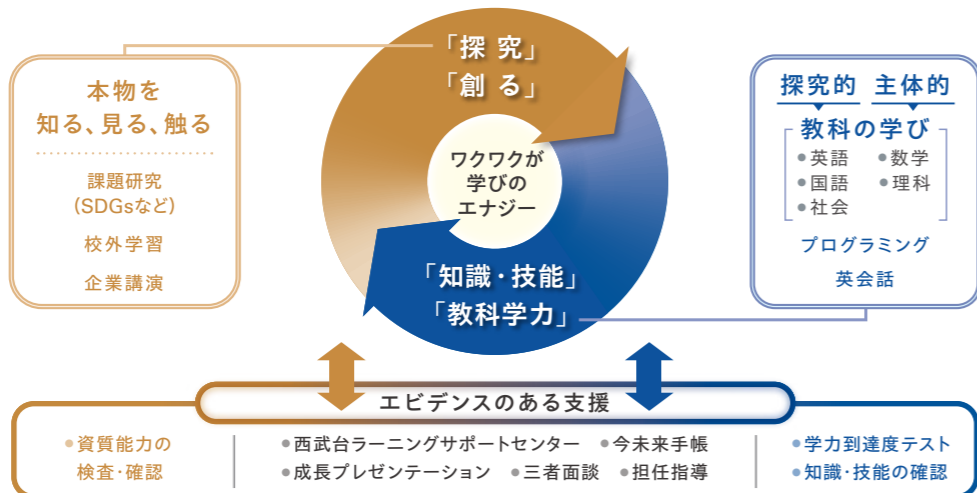
計画的なカリキュラムと丁寧な学習支援により、思考力や記述力を着実に伸ばします。一般選抜はもちろん、総合型選抜にも対応できる学力と表現力を育て、高い目標に挑戦する確かな力を身に付けます。

「問い」を探究する

本校では、自分の「好き」や「関心」を出発点に、深く掘り下げる探究に取り組みます。調べ、考え、探究論文としてまとめる経験を通して、学びを形にする力を育成。分野を横断する探究と創造の学び(Cross Learning)により、「問い」と向き合う力を養います。



▼ 学びのサイクル



▼ 校長メッセージ 継続的な学校のアップデートで、生徒の高い志をサポート

私たちが生きている現代社会は、グローバル化やテクノロジーの急速な進展により、いままで経験したことのない予測困難なものとなっています。このような社会を生き抜くため、直面する課題を「自ら調べ」「自ら考え」「自ら実践する」ことが大変重要となります。そこで、本校では生徒たちに次の3つの力「学力、対話力、創造力」をバランスよく身に付けるための教育を行っていきたくと考えています。

具体的には、開校当初からの探究的学習やICTを活用した新しい学びを取り入れながら、英語教育をはじめ学力教育や人間教育に力を入れてきました。また、文部科学省が進める教育改革・大学入試改革に向けて、主体的な学びの場を用意しながら新しい取り組みを開始しました。令和8年度からは、6年間を一体とした考えのもとに中高一貫コースの大幅な整備をスタート。ALT (Assistant Language Teacher) による英語の授業を開始しました。さらに、ALTが常駐する部屋を新たに用意し、日常英語がスッと出るようなコミュニケーションができる環境も用意しました。

急速なスピードで変わりゆく世界の中で、学校も教職員も前向きな変化が求められます。今後、西武台新座中学校は生徒を万全な態勢でサポートするためのアップデートを続けていきます。そして、生徒たちの短期的な目標となる高い志の進路を実現し、将来的には様々な分野で活躍するリーダーとして、社会に貢献してほしいと思います。



西武台新座中学校 校長 佐賀 博

6年間の学び

6年後の大学受験を見据え、3つのステップに分けた指導を展開していきます。基礎期では、学習方法と習慣の定着を促し、学習の土台づくりをしていきます。錬成期からは、高校範囲の学習もスタートし、大学入試に向けて得られた知識を活用する構造的思考力を育みながら、自立学習を確立させます。飛躍期では、大学受験に向けた演習を通して、合格に必要な得点力を身に付けて、自己実現する力を完成させます。

3つの学びのステップで、学力をつける！

▼中高6年間の学習の流れ



特進選抜コース // 国公立・難関私大合格を目標とするコース //

難関大学で活躍する力を付けるため、各単元の応用・発展内容や、思考力を問う内容を重点的に扱います。部活動と学習を両立し、高いレベルで文武両道を目指す生徒も多く在籍しています。基礎期では、問題演習や外部模試の対策を通じてインプットを行い、こまめに実力の伸びを把握しながら指導を行います。また、グループワークやプレゼンテーションなどのアウトプットの場を活用し、総合的な力を養成します。錬成期では、大学入試に向けて一層難易度の高い問題に取り組み、飛躍期では、文系・理系に分かれ、国公立大学への合格を通じて進路実現を目指します。

それぞれの夢を叶える充実した学習指導

進路実現に向け、放課後や長期休暇の講習・勉強合宿・受験や勉強法に関するガイダンス・個別添削や個人面談など、6年間を通して充実した企画を実施しています。2025年度の卒業生は、東京外国語大学をはじめとした国公立大学や、早稲田大学・明治大学・青山学院大学に進学し、夢を叶える第一歩を踏み出しました。

Student voices

生徒の声



楽 しい雰囲気の中で、真面目に授業に取り組むことができています。学級委員会と生徒会が中心になって学年集会を開いてプレゼンテーションを実施することもあります。



長 期休暇の前に、テストの結果を振り返って苦手な科目を克服したいと思いました。そこで、先生にサポートをお願いし、課題をもらって取り組みました。

特進コース // 文武両道を意識し、基礎学力の定着を徹底的に行うコース //

第一志望の大学で活躍する力を付けるため、基礎内容の定着を重視し、応用・発展内容へ結びつける学習を行います。部活動と学習を両立し、幅広いステージで活躍する生徒も多く在籍しています。基礎期では、基礎学力を身に付けるだけでなく、グループワークやプレゼンテーションなど、アウトプットの機会も積極的に活用します。錬成期では、それぞれの進路希望に応じて学習の理解度を高めていき、飛躍期では、文系・理系に分かれ、総合型選抜などの幅広い入試形式を活用しながら、進路実現を目指します。

新しい入試形式を見据えた学習指導

基礎期で身に付けた学力を活かし、錬成期・飛躍期を中心に、小論文や面接、プレゼンテーションなどの添削も手厚くサポートしています。コースの特色を踏まえた各自の活躍を土台に、6年間の学びを進路へつなげます。2025年度の卒業生は、日本大学・帝京大学などに進学し、夢を叶える第一歩を踏み出しました。

Student voices

生徒の声



勉 強面では、教え合いしながら助け合っています。テスト前は朝から皆で勉強していて、自分も頑張れる雰囲気があります。



男 女の壁があまりなく、クラスで楽しみながら接していられます。思いっきり楽しむときもあれば、冷静に課題に取り組むメリハリがしっかりついています。お互いに課題を教え合うこともあって日々勉強になります。

教科学習

Academic Education

日々の授業や講習を通じて、「学力完結型」で難関大学に合格できる実力を養います。また、6年間というゆとりある期間を用いて、知識習得にとどまらず、大学受験、そしてその先の社会で役立つ思考力・主体的に学ぶ力を育てていきます。

数学科

Mathematics

大学入試で問われる
説明力・論理的思考力の育成

数学科では、中高6年間を見通した計画的な一貫カリキュラムのもと、公式や解法の暗記に頼らない「本質的な理解」を大切にしています。私たちが重視するのは、「なぜその定理が成り立つのか」「条件を変えたらどうなるのか」を自ら考える探究的な学びです。

授業では単に正解を求めるだけでなく、複数の解法を比較検討し、自分の思考プロセスを言葉や図で論理的に説明する活動を繰り返します。この「思考の言語化」を積み重ねることで、難関大学の入試で問われる高度な論理的思考力と記述力が着実に磨かれます。

6年間の体系的な先取り学習を活かし、基礎から応用へと段階的にステップアップ。初見の難問にも粘り強く向き合い、自力で突破口を見出す「真の数学力」を育てます。大学合格のその先まで通用する、論理的課題解決能力を、ここ西武台で共に身に付けることができます。

理科

Science

難関大学で求められる
本質的な理解力を養います

理科では、単なる知識の暗記に頼る学習ではなく、「なぜそう言えるのか」という「問い」を追求する探究的な学びを重視しています。実験や観察、資料分析を通じて自ら仮説を立て、その結果を多角的に分析・考察するプロセスを何よりも大切にします。

「もし条件を変えたらどうなるか」という一歩踏み込んだ思考を繰り返すことで、表面的な理解を越えた科学的思考力を中高6年間で段階的に育成します。この主体的な学びの姿勢こそが、難関大学入試で求められる初見の事象を本質的に理解する力へと直結します。

科学的な視点で物事を捉え、論理的に解を導き出す経験は、将来の自己実現に向けた強力な武器となります。驚きと発見に満ちた学びの数々を通して、溢れる好奇心を未来を切り拓く力へと変えることができます。

国語科

Japanese

記述力・論述力を重視する
大学入試に直結する力

国語科では、中学段階から「読む・書く・考える」を一体化させた探究的な学習を展開しています。単に文章の内容を理解するにとどまらず、「どのような論理で書かれているのか」「なぜその表現が使われているのか」を、一語一句にこだわり丁寧に読み解きます。

授業では、複数の解釈を比較検討し、自分の考えを確かな根拠とともに表現するプロセスを重視します。この6年間の積み重ねにより、難関大学入試の突破に不可欠な、高度な記述力と論理的表現力を磨き上げます。言葉を通じて未知の課題を構造的に捉える力は、あらゆる学問の基盤となります。記述力・論述力を重視する大学入試に直結する本質的な力を養い、論理的に世界を読み解く知性をここ西武台で育めます。

社会科

Social studies

大学入試で重視される論述力と
社会理解力の育成

社会科では、歴史や現代社会の出来事を単に暗記するのではなく、提示された資料をもとに「なぜそれが起きたのか」「別の見方はできないか」を多角的に検証する探究的な学習を行っています。

中学で基礎的な社会の見方・考え方を確立し、高校では複数の資料を関連付けて論理的に説明する力を、6年間の継続的な指導で高度化させていきます。事実を多角的に捉え、自身の考察を論述としてまとめ上げる経験は、難関大学入試で高く評価される論述力と、変化の激しい現代社会を読み解く「社会理解力」を同時に育みます。教室での学びを実社会の課題と結びつけ、広い視野から未来を展望する力を養います。単なる知識の習得に終わらない、社会を主体的に生き抜くための確かな思考力を共に磨けます。

リニューアルされた英語学習

English Education UPDATE

英語が得意と言える自分へ。西武台で叶える、難関大合格とグローバルな未来。

西武台新座では、伝統の音声指導をさらに進化させた英語教育をスタートします。目指すのは、必要な「確かな学力」と、英語を使いこなす「自己肯定感」の両立です。中学1年次の徹底した「発音・発声指導」で「耳」を鍛えることから始まり、文法と読解をシームレスにつなぐカリキュラムでGMARCHや難関大学に合格できる「本物の英語力」を着実に養成。さらに、専属のALT (Assistant Language Teacher) とのチームティーチングや国内外の多彩な研修プログラムを通じ、学んだ知識を「生きた言葉」として使う成功体験を積み重ねます。「楽しい」から「得意」へ。世界を広げる6年間のストーリーがここから始まります。

「わかる」から「解ける」へ
難関大合格レベルの英語力を育成

単なる暗記で終わらせない、文法から長文読解へつなげる独自のカリキュラムを展開します。中3で準2級、高1で2級、高3で準1級への合格を目指し、GMARCHや難関大を突破する「本物の英語力」を、西武台で磨き上げます。

耳から目覚める英語脳
独自の「発音・発声指導」

正しく聞き、発音できる力は、入試で問われる速読力やリスニング力にとどまらず、世界で活躍する上での会話力につながります。中学1年次の初期指導は、徹底した「発音・発声指導」が特徴です。口や舌の動かし方からつかみ、正しい英語を体に染み込ませます。耳で覚えた英語は、読む・書く・話す力の強力な土台となります。

イングリッシュ・グローバルキャンプ
1日英語漬けの特別プログラム

中学2年次と高校1年次の計2回、ネイティブ講師との英語漬けプログラムに挑みます。学んだ知識を「生きた言葉」へと変える実践の場です。物おじせずに想いを伝える度胸と、グローバルな視点を養う特別な時間を提供します。

「楽しい」は、最強の武器
「できる!」が自信を加速させる

英語を学ぶ楽しさが、確かな実力へと変わる瞬間です。西武台では言語活動を通じた成功体験を重視し、「英語が好き」というポジティブな感情を生み出し、自己肯定感を育てます。

日常的にネイティブの英語に触れる

中学校専属のALTを配置し、英語の授業では日本人教師と連携した授業を実施します。本校専任の職員であるため、給食の時間や学校行事など、授業以外での交流も促進し、ネイティブと直に交流する体験を提供します。

一生ものの感動を刻む
2度の海外修学旅行

中学3年次と高校2年次の2回の海外修学旅行を用意しています。教室で磨いた英語が「通じる」喜びを肌で感じる成功体験は、学習への強い目的意識を呼び起こし、世界へ挑む自信を一生ものの財産として刻みます。また、現地の文化に直に触れることで、国内では得られない新たな視座を手に入れてもらいます。



探究学習

Project Based Learning

本校では、教科の枠を超えて学びを深める独自の学びとして、「探究活動」を展開しています。生徒一人ひとりが自ら立てる「問い」を大事にし、様々な教科の知識を活用して探究と創造をおこないます。探究学習では、AIを活用したPBL型[※]で授業を進めます。情報の収集・分析を通して問いを磨き、試行錯誤しながら解決策を探ります。探究の過程や成果は、毎年開催される探究学習発表会で発表し、対話を通して思考を深めます。地域連携学習やプログラミング学習、教科横断授業もこの枠組みに位置づけ、複数の視点から「問い」に向き合います。こうしたすべての学びを総括する成果発表として取り組むのが探究論文です。本校では、「問い」を起点に思考を積み重ね、創造へとつなげる学びを実践しています。

「探究学習」で創造へとつなげる学びを実践！

※ PBL型について
 答えのない課題に対し、仲間と対話しながら解決策を探る方法です。主体性と協働性を育ませる、新しい学びのカタチです。



探究学習の6年間の流れ



文系・理系も視野に入れた探究学習 (Project Based Learning)

本校では、文系・理系の枠を超えて学ぶ探究学習 (Project Based Learning) を通じて、社会や自然に対する深い理解と、自ら考え行動する力を育てています。探究活動の中では、工学・理学・生物・物理・情報など、幅広いサイエンスの視点を取り入れ、事実やデータに基づいて課題を捉え、検証する姿勢を大切にしています。

中学段階では、人文社会科学的なアプローチと自然科学的なアプローチの両方を経験します。社会課題について情報を収集・整理し、その背景を読み解く力を養うとともに、仮説を立て、実験や調査を行い、結果を分析・考察するなど、科学的な考え方を段階的に身に付けていきます。

中学3年生では、社会に目を向け、環境問題や高齢化などのテーマを扱います。社会的な側面と、数値やデータを用いたサイエンスの視点の両面から課題を考えることで、現実社会と結びついた実践的な学びを深めます。こうした探究の積み重ねを土台として、高校では個人探究へと発展させ、文系・理系を問わず、将来につながる思考力と表現力を育成します。

探究論文

探究学習の総括として、高校1年生から本格的な個人探究に取り組みます。自分が一生をかけて向き合う課題を自ら定義し、調査・考察を重ねてまとめます。その成果として探究論文があります。この学びは大学進学につながるだけでなく、将来社会でどのように生き、何を成し遂げるかという自己の将来像を描く重要な指針となります。

探究学習発表会

教科の枠を越え、自然科学・人文科学・社会科学などに関する幅広いテーマについて、情報収集・実践・分析・考察を実施する活動です。年間を通して取り組み、3学期には保護者の前で全チームがプレゼンテーションを行います。これまでに学んだ内容を実社会とのつながりを意識しながら、自分の「好き」や「関心」に基づいて深く探究する経験を通して、生徒の好奇心と主体的に学ぶ意欲を育みます。

地域連携学習

本校では、校外学習を通して生きた知識や豊かな経験を獲得することを目指しています。地元自治体などとも連携して、博物館や工場、官公庁などを実際に訪れ、社会の仕組みや人々の働きを肌で感じ、社会に対する関心や職業観を育むきっかけ作りを行っています。また、見学先での発見や疑問を共有することで、多角的な視点や協調性も養っています。

プログラミング学習

本校のプログラミング学習は、コードに関する知識はもちろん、論理的思考力・問題解決能力・創造性といった汎用性の高い能力の醸成も重視しています。また、大学入試で新しく設けられた情報分野へのスムーズな接続も視野に入れています。3年間で30時間程度の学習機会を設け、毎回専門の講師をお招きして体験型の授業を行っています。生徒からも「新しい発見がある」と好評の企画です。

生成AIの導入

本校の探究学習では、生成AIを「思考を深めるための支援ツール」と位置づけ、発達段階に応じて活用します。中学1年生では使用せず、自力で考え試行錯誤する力を重視します。中学2年生以降は段階的に導入し、情報収集や整理、分析への活用を学ぶとともに、AIの答えを鵜呑みにせず検証する姿勢を養います。高校では、探究活動の中でAIを適切に使いこなす力を育成します。

文理融合の教科横断クロス・ラーニング

環境や医療、エネルギーなど、現代社会には一つの教科や専門だけでは考えきれない課題が数多くあります。本校では、文系・理系の枠を越えた学びを大切に、データや科学的な考え方をもとに物事を捉える力と、研究や技術を社会とのつながりの中で考え、分かりやすく伝える力を育てます。文理融合型の探究活動を通して、知識を「理解する」だけでなく「活用する」力へと高め、自ら「問い」を立て、考え、判断できる生徒を育成します。

進路学習

Carrer Studying

本校では進路選択にとどまらず、6年間を通して生徒一人ひとりが自己理解を深め、主体的にキャリアを形成する活動を取り入れています。特に中学校に在籍する基礎期・錬成期前半では、様々な企画を通じてキャリアに関する好奇心・情報収集能力を養い、生徒一人ひとりの個性と可能性を最大限に引き出すことを重視しています。

成長プレゼンテーション

本校の三者面談は生徒が主役となり、保護者と教員に「成長プレゼンテーション」を行います。それぞれが思い描く将来像をもとに、高校生活・大学生活を見越してスケジュールの逆算を行い、現在の自分に必要な課題を見つける活動です。また、入学時から現在までの成長を可視化することで、学校生活に対する意欲の向上や自己肯定感の醸成にもつながります。生徒にも保護者にも好評の企画です。

西武台アカデミア

定期的に、様々な分野の第一線で活躍する方をお招きし、講演会を実施しています。それぞれの仕事のやりがいや苦勞を直接聞くことで、生きた学びを得ることができます。また、多様な職業を知ることで、自身の興味や関心・適性について考え、将来の選択肢を広げるきっかけにもなっています。

外部模試

各学期に1回、全学年でベネッセ模試を実施しています。学校内での定期テストとは異なり、全国のライバルと比較した自分の課題や弱点を見つけて対策することで、大学受験に対応できる学力の向上を図ります。また、模試の受験にあたっては、授業の内外で過去問に取り組み、解説授業も行っています。

SLC

「西武台ラーニングサポートセンター」の略で、中学生は18時まで、高校生は20時まで個別のブースで自習を行うことができます。また、常時大学生や卒業生のチューターが在籍しており、定期考査や受験勉強・英検などの資格取得の対策を行うことができます。個別の質問だけでなく、計画の作成や個別面談なども幅広く対応しています。

進路学習の6年間の流れ



進路実績

Achivement in University Entrance

本校で中高6年間を過ごした多くの生徒たちが、第一志望の大学で新たなスタートを切っています。錬成期・飛躍期まで一貫した学習・進路指導や、一人ひとりと先生との信頼関係に基づく手厚いサポートは、本校の卒業生からも好評です。

サポート1 主任面談・日直面談

錬成期・飛躍期では、より個別最適化された指導が必要となります。そのため、担任との日直面談や主任面談を実施し、きめ細やかな指導を行っています。各自の目標に応じた具体的なアドバイスを継続的に行うことで、日々の学習や学校生活に対する意識を大きく高めることができます。

サポート2 充実した学習環境

一貫コースでは、放課後や長期休暇の講習・勉強合宿・教科担当との個別の添削・SLCでの自習や個に応じた学習など、幅広い学びの機会を設けています。また、コース企画として卒業生講演・受験に関するガイダンス・長期休暇の計画表作成など、独自の手厚いサポートが充実しています。

進学実績(年度別)

2020年度

東京工業大学(現・東京科学大学) 東京外国語大学 防衛大学校 早稲田大学 慶應義塾大学
東京理科大学 青山学院大学 立教大学 明治大学 中央大学 津田塾大学
北里大学 東洋大学

2021年度

東京学芸大学 防衛大学校 埼玉医科大学(医学部医学科) 立教大学 明治大学 東京理科大学
法政大学 東洋大学 文教大学 日本大学 日本女子大学 昭和女子大学 東京電機大学

2022年度

東京外国語大学 東京海洋大学 早稲田大学 上智大学 東京理科大学 明治大学 立教大学
中央大学 法政大学 成蹊大学 武蔵大学 獨協大学 芝浦工業大学

2023年度

埼玉大学 埼玉県立大学 東京都立大学 慶應義塾大学 東京理科大学 青山学院大学 立教大学
中央大学 法政大学 成蹊大学 武蔵大学 日本大学 東洋大学 駒澤大学
専修大学

2024年度

埼玉大学 上智大学 学習院大学 明治大学 青山学院大学 立教大学 法政大学 成蹊大学
獨協大学 國学院大学 東京電機大学 芝浦工業大学 東京都市大学 日本大学 東洋大学 駒澤大学
帝京大学 東京医療保健大学(放射線)

2025年度

[国公立] 東京外国語大学<1名> 埼玉大学<1名>
[早慶上理] 早稲田大学<1名> 上智大学<1名>
[G・MARCH] 明治大学<2名> 青山学院大学<1名>
立教大学<4名>
[成成武獨國] 成城大学<2名> 獨協大学<2名>
國学院大学<1名>
[日東駒専] 日本大学<4名> 東洋大学<4名>
[大東亜帝国] 帝京大学<3名>
[薬学部] 明治薬科大(薬)<1名> 星薬科大学(薬)<1名>
昭和医科大(薬)<1名> 横浜薬科大学<1名>
日本薬科大学<1名>
[医療・看護系] 北里大学(放射線)<1名>
順天堂(放射線)<2名> 杏林(放射線)<1名>

※既卒生含む

Events

学校行事

温かく頼れる先生方、同じ時間を一緒に過ごす大切な仲間たち。
たくさんの体験と豊かな教育内容を備えた本校で、実りある6年間を過してください。

オリエンテーション合宿

「オリエンテーション合宿」は入学直後に行う2泊3日の宿泊行事です。クラスメイトと寝食を共にし、^{はんこうすいきん}飯盒炊爨や集団行動、ホームルーム活動など様々な体験学習を行います。規則の遵守を通じて自己成長の機会を得ることができると同時に、教室での学習を越えた豊かな人間関係も構築できる、大切な行事です。

武陽祭

本校では、中高合同で「武陽祭(文化祭)」を行っています。準備段階から役割分担を行い、互いに協力し合うことで、コミュニケーション能力やリーダーシップなどの社会で求められるスキルを実践的に身に付けることができます。中高一貫の環境を活用して高校生の企画を見学し、刺激をもらって自分たちの企画に活用する様子も多く見られます。学校生活の集大成となる、とても楽しい行事です。

体育祭

中高合同で行われる体育祭は、競技への参加や応援を通して喜びや悔しさを共有し、生徒同士の絆が深まる大切な行事です。また、チームで戦略を練り、練習に取り組む中で、計画性や組織力も養うことができます。学年の垣根を超えた全クラス対抗の大縄跳びは、毎年一番の盛り上がりを見せる種目です。高校生の白熱した戦いぶりを見ることも、生徒の楽しみになっているようです。

スキー教室

白銀の自然に囲まれた環境で行うスキー教室では、技術の上達だけでなく、仲間と支え合いながら挑戦する経験を大切にします。段階的に目標を設定し、短い時間の中で繰り返しスキーに挑むことで「目標を達成していく力」を育成します。同時に、安全への配慮や規律ある行動も学び、心身ともに成長できる行事です。努力が成果につながる達成感を味わいます。

芸術鑑賞教室

令和8年度より、劇団四季を鑑賞します。芸術鑑賞教室では、通常の授業では体験できないような多様な表現を体感します。作品の背景や表現意図を考えながら鑑賞することで感性を磨き、豊かな想像力と表現力を育成します。静かに鑑賞するマナーや文化への理解も深めつつ、心を動かす体験こそが、新たな興味や学びへの意欲を広げる機会となります。

クリーン大作戦

本校では徳育教育の一環として、高校と合同で年に2回、学校周辺の清掃活動を行っています。毎日利用している通学路などを生徒たちが、一丸となってゴミ拾いを行っています。単なる美化活動として終わらせず、社会の一員としての自覚を育む大切な学びの場となっています。

School life

スクールライフ

広く、そして深く学ぶことを大切にしたい西武台の学校生活。
クラスメイトと一緒に考えて、議論して解決する授業。
おいしくて楽しい給食。親切で丁寧な人間教育や進路指導の時間。
文化部も運動部も最高の仲間と活動ができる部活動。
学んで、笑って、ともに成長する毎日がここにはあります。



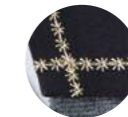
Uniform

制服

3 Season

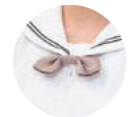
冬

トラディショナルなデザインも人気です



POINT

セーラーのラインがお花の刺繍になっていてとてもおしゃれ。



POINT

カワイリボンが人気!

Spring & Autumn

春・秋

中間服は季節の変わり目のお役立ちアイテム!



Summer

夏



Option



合皮の黒の鞆で、チャックの部分が金色で高級感があります。また中にもポケットがあるので便利です。



ラインが入っていてスポーティー。



ダブルコートがあったかいいカッコいい。



AラインのPコートで、着るとシルエットが綺麗に見えます。

≫ AR制服試着体験もできます! ≪

さらに詳しい情報はホームページで





1



2



3



4

Club Activities

部活動

「教えてもらう」から「自分で考えて行動する」へ。
部活動は体力や技能の向上を目指すとともに、
生徒が自主性を身に付ける学びの場でもあります。

1 サッカー部

- 令和7年度埼玉県中学校総合体育大会第3位
- 令和7年度埼玉県新人体育大会出場
- 令和6年度朝霞地区中学校総合体育大会 優勝
- 令和6年度埼玉県中学校総合体育大会 優勝
- 令和6年度関東中学校サッカー大会 第3位
- 令和6年度全国中学校サッカー大会 第3位
- 令和6年度高田宮杯関東大会 出場

2 チアダンス部

- 第15回全国中学校ダンスドリル冬季大会 Janet Lin AWARD 受賞
- 全国中学校ダンスドリル大会 ソロ部門 第1位

3 新体操部

- 令和6年度関東中学校新体操大会 出場

4 陸上競技部

- 令和7年度埼玉県中学校総合体育大会 男子砲丸投げ 出場
- 令和7年度新人戦朝霞地区予選 男子砲丸投げ 第1位
- 令和7年度埼玉県新人体育大会 男子砲丸投げ 出場
- 令和6年度埼玉県大会 男子砲丸投げ 女子円盤投げ 出場
- JOCジュニアオリンピックカップ 第55回U16陸上競技大会 埼玉県選考会U16女子ジャベリックスロー 第1位

5 男子硬式テニス部

- 令和7年度新人体育大会県大会 出場

6 女子硬式テニス部

7 吹奏楽部

8 茶道部

9 合唱部

10 電子部

11 ラグビー部



青…運動部 赤…文化部

卒業生インタビュー

授業も部活動も力いっぱい頑張った6年間。西武台の生徒たちが、楽しく充実した学校生活をおくりながら、先生方の親切丁寧なサポートや様々な西武台の指導プログラムを活用して目標の大学に合格しました。将来の夢の実現に向けた第一歩をつかんだみなさんの声を紹介します。

西武台で学べてよかったことは？

喜々津 西武台は英語教育が充実していて、特に発音・発声は入学当初から毎日取り組みます。口の模型を使って舌の動きをしてくれる英語の先生の授業は、とても新鮮な感じがしました。イングリッシュ・グローバルキャンプは英語力を試す良い機会で、海外からの留学生と英語だけで会話することができました。

松井 少人数クラスなのですぐにクラスメイトと仲良くなれます。先生との距離も近く、一人ひとりに目を行き届かせてくれていました。授業でわからなかった部分は、休み時間や放課後でも丁寧に教えてくれます。質問の生徒で列ができるほどでした。分からない部分を残さず次に進めたので、授業を受けるのが楽しかったですね。

石蔵 この学校では総合学習の時間を中心にアクティブ・ラーニングが取り入れられています。「チャレンジ学習」では2年「SDGs」、3年「自分の将来」について取り組みました。自分たちで課題を探し、iPadを使って調べ、グループで話し合い、発表します。僕は人前で話すことが苦手でしたが発表を繰り返すことで克服できました。英検などの外部試験や選抜型の入試、社会に出てからのプレゼンテーションでも役立つと思います。

石蔵 春期・夏期・冬期の講習はありがたかったです。前半は前学期の復習、後半は次学期の先取り。西武台の6年間は講習などを活用して、どんどん先取り学習が進んでいきます。おかげで高校の3年のときは受験勉強に集中して取り組むことができました。

喜々津 私は高校の勉強合宿が忘れられない思い出です。朝5時に起きて自習開始、午前・午後の授業を受けて、夜も自習。友だちも一緒なので、負けれないという気持ちもあって、一人で勉強するより圧倒的に集中できました。

松井 居眠りしたら、友だちに起こされるしね。

石蔵 高3の夏休み前の模試で、日本史の偏差値が45。志望校合格には致命的な結果でした。そこで日本史の先生に相談したところ、SLCで夏休

みに5日間連続の特訓をしてもらえることになりました。歴史は点で学ぶのではなく、点を結んだ線で覚えるのが効果的。そんな考えのもとでの連続講座だったのですが、理解できるようになると、その後の自習もスムーズに進み、夏休み明けの模試では偏差値70をクリアしていました。日本史の先生には感謝しかありません。

松井 私は塾に通わず自学自習と西武台の講習で大学入試に臨みました。SLCは、ホントよく活用しましたね。自習室として使えるのも良いのですが、過去問などのわからない部分を大学生のコーチに教えてもらえるので助かります。担当科目のコーチが不在の場合はオンラインで質問することもできます。

将来の夢や社会で果たしたい役割は？

喜々津 親が警察で働いていることもあり、小さいころから正義感は強かったと思います。中学の総合学習の時間で自分の将来について取り組んだときに、法曹の道に進み検事になりたいという夢が明確になりました。だから受験をしたのは法学部だけです。公正さを大切に、日本の治安を守る一翼を担えるよう努力していきたいと思っています。

松井 世界を舞台に働きたいという想いが強くなったのは総合学習の時間に取り組んだSDGsの授業がきっかけです。「世界の水とトイレ事情」を調べたときに、日本では当たり前なのに、世界ではこんなにたくさん困っている人がいることを知りました。将来は海外支援を行うNPO・NGOやユニセフで働くことも選択肢の一つに入っています。海外で困っている子供たちのサポートができれば素敵だなと感じます。

石蔵 将来、何の職業に就きたいかは漠然としていますが、大学では英語のマスターを目標としています。働ける企業の幅が広がることはもちろん、インバウンドだけでなく就労を目的に外国人がたくさん来日しているの、日本でビジネスをするにも英語力はメリットしかありません。父の経営する会社を継承するにしても役に立つと思います。



Moka Masui
松井 珈さん
〔東京外国語大学 国際社会学部〕



Kaede Kitatsu
喜々津 楓さん
〔明治大学 法学部〕



Kaito Ishikura
石蔵 敬士さん
〔早稲田大学 教育学部〕